

# シカ捕獲プロフィール

(九州局)宮崎森林管理署

## 1. 署の基本情報

### ① 署の基礎的情報

管内面積	48,440.00ha		
シカ生息密度	10頭/k㎡以上30頭/k㎡未満		
管内市町村数	4		
	R3	R4	R5
更新面積	148.67ha	146.62ha	63.83ha
人工造林面積	148.67ha	146.62ha	63.83ha
シカによる森林被害面積	0.00ha	0.00ha	0.00ha
うち、人工林被害面積	0.00ha	0.00ha	0.00ha

※1

### ④ 協定・協議会数

			R3	R4	R5
わな貸出		協定	5	5	5
		協議会			
その他	協定	鍵貸与 除雪等			
		その他			
	協議会				

### ② 署のシカ捕獲等対応体制

担当職員			
	R3	R4	R5
全職員数	36人	35人	33人
わな講習受講者数	8人	7人	8人
狩猟免許所持職員数	0人	0人	0人

※2

### ⑤ 捕獲の方法、実施時期

・ 捕獲の方法		R3	R4	R5
改良型わな等	小林区			
	こじゃんと			
	その他			
くくりわな		○	○	○
囲いわな				
銃(モバイルカリング等)				
・ 捕獲実施時期				
職員実行		4月～3月	4月～3月	4月～3月
委託事業		9月～11月	12月～2月	9月～10月
協定		4月～3月	4月～3月	4月～3月

### ③ 捕獲実行形態

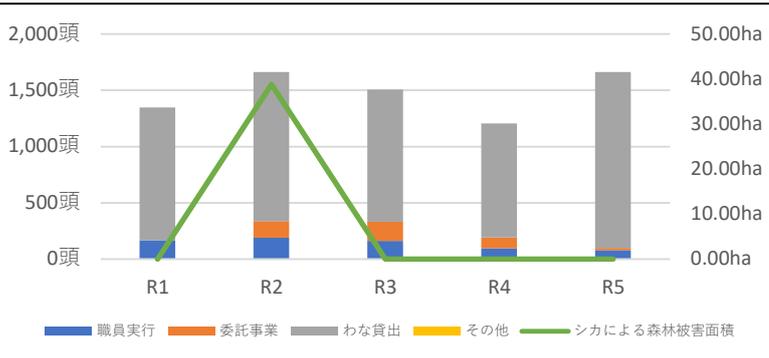
		R3	R4	R5
職員実行		○	○	○
委託事業		○	○	○
わな貸出	協定	○	○	○
	協議会			
その他	協定	鍵貸与 除雪等		
		その他		
	協議会			

### ⑥ 捕獲以外の被害対策

シカ防護柵実施有無	有
シカ忌避剤使用有無	無

## 2. 捕獲頭数とシカによる森林被害面積の推移

### ★森林被害対策のワンポイントアピール



- 職員実行によるシカ捕獲 小林市須木の夏木・内山森林事務所管内及び宮崎市高岡の高岡森林事務所管内において職員によるシカ捕獲を実行。
- 当署管内において宮崎市の田野・高岡、小林市の須木・野尻及び綾町の猟友会等五つの地区とシカ被害対策協定を締結し罾の貸与を実施している。
- 委託事業によるシカ捕獲については、シカ捕獲協定区域と競合しないよう効率の良い捕獲に努めた。

		R1	R2	R3	R4	R5
捕獲頭数	職員実行	168頭	190頭	162頭	95頭	80頭
	委託事業		147頭	170頭	98頭	20頭
	わな貸出	1,180頭	1,325頭	1,176頭	1,014頭	1,564頭
	その他					
	計	1,348頭	1,662頭	1,508頭	1,207頭	1,664頭
シカによる森林被害面積		0.00ha	38.82ha	0.00ha	0.00ha	0.00ha

※1 シカによる森林被害面積は、森林被害年報における実損面積です。

※2 当該年度にわな講習を受講した人数。

### 3. 署長が語る

宮崎森林管理署におけるシカ対策の取組

#### 1 宮崎森林管理署の概況

宮崎森林管理署は、宮崎市、国富町、綾町と、小林市の東部の一部を管内として、宮崎県のほぼ中央から南部の国有林野、約4万8千haの管理経営に携わっています。管内の国有林野は、大淀川の源流部から海岸部まで、スギ・ヒノキ等の人工林(人工林率57%)、カシ・ナラ類など天然林、海岸マツ林など多様な森林からなり、山地災害防止、水源涵養、自然環境の保全形成など公益的機能の発揮を重視した管理経営を行っています。

#### 2 シカ被害とシカの分布

宮崎県においてシカの生息頭数や分布域は増加拡大傾向にあり、農林業被害とともに希少野生動植物の生息域の圧迫といった森林生態系への影響が懸念されています。県北部、県西部・九州山地、霧島山周辺のシカ分布が多い一方、海岸部をはじめ県南部では分布が少なく、署管内では、宮崎市西部、小林市などがシカの主な生息域となっています。

#### 3 シカ捕獲を重点に取組

署のシカ対策として、シカ被害対策協定、委託捕獲、職員実行によりシカ捕獲を重点に取り組んでいます。有害鳥獣捕獲、シカの生息状況把握など含め、県、市・町・村、猟友会、地元関係者等と連携して、情報共有、検討会、講習会などを行っています。

○シカ被害対策協定：宮崎市田野町、小林市野尻町、小林市旧須木村での協定に、令和3年度に協定締結した宮崎市高岡町、綾町を加えた5協定によりシカ捕獲に取り組んでいます。

○委託捕獲：綾町、国富町及び小林市において委託事業で、わなによりシカ捕獲を行っています。

○職員実行：宮崎市高岡地区、小林市須木地区において、わなによりシカ捕獲を行っています。

#### 4 綾の照葉樹林プロジェクトでのシカ対策

2005年(平成17年)、九州森林管理局、宮崎県、綾町、日本自然保護協会、てるはの森の会の5者が協定書を取り交わし、協力して照葉樹林の保護・復元に取り組む「綾の照葉樹林プロジェクト」を開始しました。プロジェクトにおいては、スギ、ヒノキの人工林において間伐等によって照葉樹の更新を促すなど、照葉樹林の復元を目指すこととしています。

一方、シカによって広葉樹の稚樹が食害されるなど、更新への影響が懸念されています。このため、プロジェクト関係者、地元猟友会などが協力して、シカの生息状況調査、シカ柵の設置、シカ捕獲などに連携して取り組んでいます。

#### 5 まとめ(署のシカ対策の特徴)

○協定、委託、職員実行など多様な形でシカ捕獲を実施しています。

○シカの生息状況等について、地元猟友会、林業事業者等と疎通し効率的なシカの捕獲を実施しています。

○「綾プロ」におけるシカ対策が、照葉樹林再生へつながることが期待されます。

署長：山口 輝文(令和4年7月1日～)

R4 宮崎森林管理署長

R5 同上

R6 同上

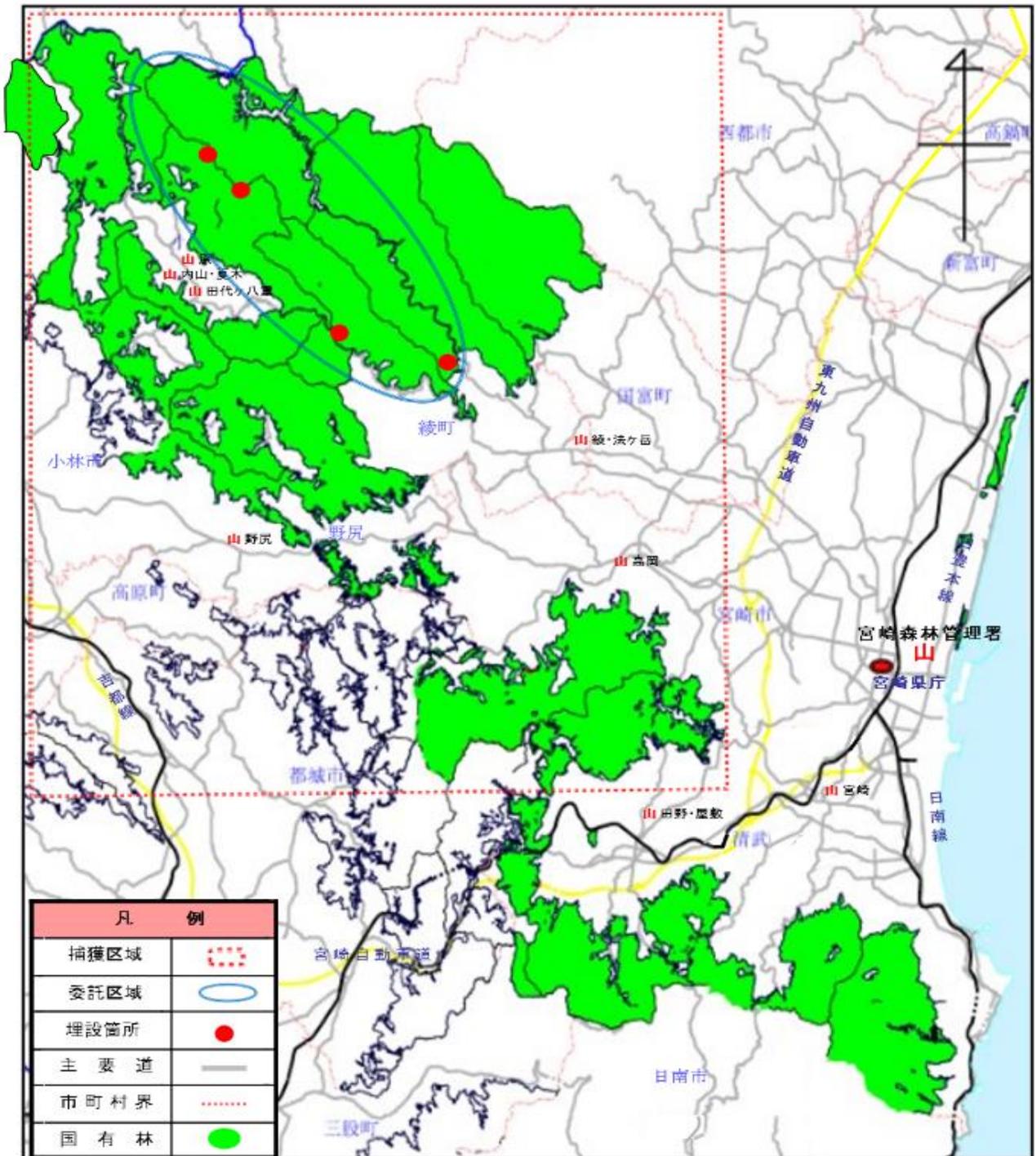


シカ捕獲勉強会

シカ捕獲状況



# 宮崎森林管理署管内図



## 4. 職員実行

### ① 基本情報・トピック

わな講習受講者 8人  
狩猟免許所持職員数 0人

実施職員の構成  
首席森林官、森林官、森林技術  
員、行政専門員

共同実施者の有無 無

★署として工夫していること、ポイント

- ・工夫点・・・定期的な見回りを実施しています。
- ・ポイント・・・署全体で取り組む体制を構築しています。

### ② 安全対策

- ・安全勉強会の実施
- ・緊急連絡体制表の作成
- ・ダニ対策・・・服装チェック、忌避スプレーの携行

### ③ 職員実行の流れ

#### 実施期間・時期の決定

- ・一年を通して実施しています。

#### ボトルネック※3

- ・台風及び豪雨

#### 改善策※4

#### 実施場所の決定

- ・新植地周辺、シカの目撃が多い場所など効率的に捕獲が可能な場所を選定しています。

#### ボトルネック

- ・最新の目撃情報

#### 改善策

- ・林業従事者や猟友会から情報収集

#### わなの設置

- ・「笠松式わな」を使用しています。
- ・林道周辺の獣道に、1日10～20基設置しています。
- ・誘引材についてはヘイキューブを使用。

#### ボトルネック

- ・人工の確保
- ・作業時間及び作業日数

#### 改善策

- ・わな講習受講者数の増加

#### 見回り

- ・森林事務所の現場管理業務と一体的に実施しています。
- ・見回りの曜日等を決め、森林事務所主体で対応しています。

#### ボトルネック

- ・人工の確保
- ・作業時間

#### 改善策

- ・署全体での見回り体制の構築

#### 止めさし

- ・刺殺や撲殺等により行っています。

#### ボトルネック

- ・精神的苦痛

#### 改善策

- ・職員の意思確認
- ・猟友会との協力

#### 処理・埋設

- ・林内に埋設穴(直径1m、深さ1m)を作成し、埋設しています。

#### ボトルネック

- ・埋設穴の作成
- ・捕獲個体の運搬

#### 改善策

- ・事業者の協力
- ・署全体で処理体制を構築

#### 前年度の実績(森林被害面積抑制、捕獲頭数増加)を更に伸ばすために予定していること

- ・下層植生等を見て効率的な捕獲罠を設置しました。
- ・誘引材(誘引餌)について工夫を行いました。

※3 全体に影響する問題要因で最も問題視される要因のことです。本票では各取組業務を妨げる要因として取り扱います。

※4 ボトルネックを解消するための方法です。

## 5. 委託事業

### ① 基本情報・トピック

応札者数 1 (1事業あたりの平均)

#### ★目標頭数の決め方

・前年度実績など過去の捕獲データを参考により目標頭数を決定しています。

### ② 特記仕様書での工夫

・効率的な捕獲となるよう委託事業と市町村が実施する有害鳥獣捕獲の実施区域の棲み分けを行っています。

### ③ 委託実行の流れ

#### 実施期間・時期の決定

・狩猟期間及び協定による捕獲と重ならないよう実施しています。

#### ボトルネック

・台風及び豪雨  
・市町村の有害との競合

#### 改善策

・有害駆除との棲み分け

#### 実施場所の決定

・新植地周辺、シカの目撃が多い場所など効率的に捕獲が可能な場所を選定しています。

#### ボトルネック

・最新の目撃情報

#### 改善策

・林業従事者や猟友会等から情報収集

#### わなの設置

・「笠松式わな」を使用しています。  
・林道周辺の獣道に、1日30~40基設置しています。  
・誘引材はハイキューブを使用しています。

#### ボトルネック

・人工の確保

#### 改善策

・地元猟友会の雇用参加

#### 見回り

・設置、給餌、見回りを二人一組で行っています。

#### ボトルネック

・人工の確保

#### 改善策

・特になし

#### 止めさし

・刺殺や撲殺等により行っています。

#### ボトルネック

・特になし

#### 改善策

・特になし

#### 処理・埋設

・林道脇に埋設穴(2m×2m×2m)を作成し、埋設しています。

#### ボトルネック

・埋設穴の作成  
・捕獲個体の運搬

#### 改善策

・委託者で捕獲から搬入まで実施

前年度の実績(森林被害面積抑制、捕獲頭数増加)を更に伸ばすために予定していること

・わな設置の日数を増やす。また、地元猟友会との情報の交換を行います。

## 6. わな貸出(協定・協議会)

### ① 基本情報

管内市町村数 4

協定締結数 5

協定相手方

①宮崎市、宮崎市田野町有害鳥獣捕獲対策協議会

②小林市(野尻町)、小林市野尻町有害鳥獣対策協議会

③小林市(須木)、小林市須木猟友会有害鳥獣駆除班

④宮崎市(高岡町)、高岡町有害鳥獣被害防止対策協議会

⑤綾町、綾町有害鳥獣対策協議会

協議会参画数 2

協議会相手方

①宮崎市

②綾町

### ② 協定・協議会裏話

協定締結、協議会発足等にいたるキッカケ

各市町村有害鳥獣対策協議会等の会議において、当署のシカ捕獲の取組を紹介しています。

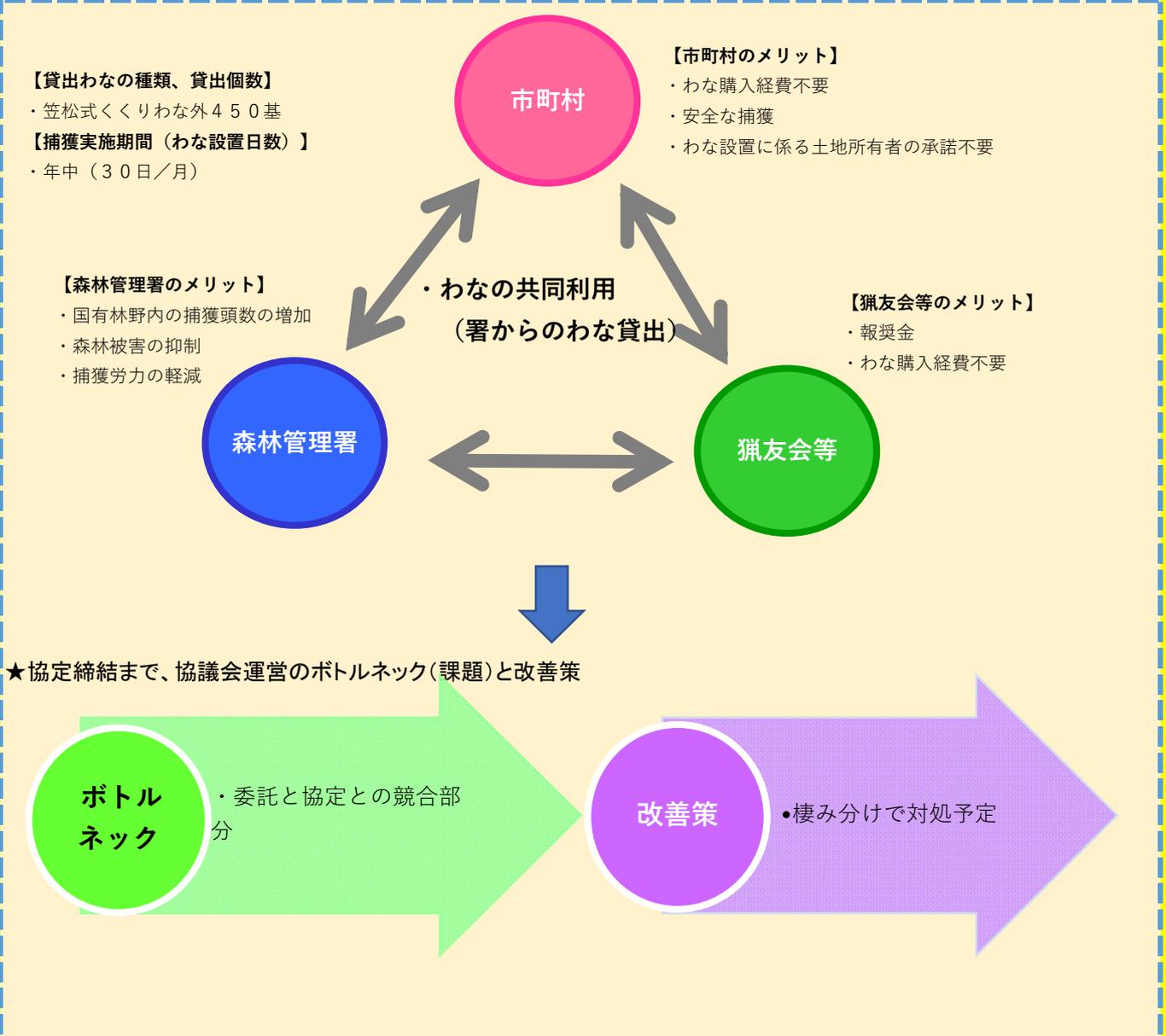
協定締結まで、協議会の運営で苦労した点

猟友会の参画を得ることや、見回り体制の構築などです。

協定締結や協議会運営で工夫した点

設置場所、見回りは、猟友会会長等に一任してあります。また、破損部品については、出先森林事務所にて取り替えを実施しています。

### ③ 協定、協議会関係図(一例)



### 協定相手方、協議会参画者からの声

・地域の農林業被害の軽減につながりました。

### 前年度の実績(森林被害対策、捕獲頭数)を更に伸ばすために予定していること

・協定者等を含めた、小林式誘引捕獲法の勉強会を予定しています。